



連絡や情報は下記へ  
フリーダイヤル(10時~18時)  
0120-442-742

# ROUSAN 山ニュース

—第 40  
〒162-0814  
東京都新宿区新小川町5番24号  
電話 03-3260-6331  
Fax 03-3235-4324  
E-mail jwaf@jwaf.jp  
HP http://www.jwaf.jp  
発行責任者 浦添 嘉徳

## 仲間とともに 新たな一歩を 踏み出そう!



東京の会議場に集まった評議員のみなさん

### 第34期第1回評議会を開催

2月20~21日

#### 主な記事

- 2面 核兵器禁止条約の批准の決議
- 3面 「全登研集会」プレ集会として開催
- 4面 全国連盟の各種会議及び集案案内
- 5面 「安全登山」で、夏山シーズンを楽しく
- 6面 会・クラブ紹介 (香川県・善通寺山の会)
- 7面 会・クラブ紹介 (北海道・スマイル・マウンテン・クラブ)
- 8面 足尾に緑を育てる会・植樹祭支援

全国労山は、第34期の第1回評議会を2月に都内で開き、今年度の活動方針・予算など提案した議案すべてが採択された。

コロナ禍の中、評議委員がWEBで会議に参加、発言と議案の採択ができるようにし会議を行った。評議会では述べ、42名が発言、そのうちWEB参加の評議員の発言は半数だった。

昨年11月に都道府県連盟からの報告では、全国労山の組織会員数は、前年度より

688名減少し、1万7千550名となり、30年前(1991年)の組織現勢に落ち込んだ。これは、コロナ禍の中で山行ができないという状況が続いたこと、会員の高齢化で会の活動ができないなどの理由によるもの。

それでも、10地方連盟は組織数を伸ばし、約90の会・クラブは会員数を伸ばしている。また、評議会では、山行活動を活発にして、積極的な拡大目標を設定して取り組んでいる報告も行われた。

評議会は、「仲間とともに、新たな一歩を踏み出そう!」のスローガンを掲げ、会員数を伸ばした地方連盟、会・クラブの活動に学んで、新たな

※(2項につづく)

## 核兵器禁止を粘り強く訴えてきた労山

### メスナー氏から賛同署名が届く

全国労山は1982年の総会で、「平和な社会でこそスポーツ・文化の発展が保障される」ことを確認、核兵器

の全14座を無酸素で初登頂

に、ヒマラヤ8000峰

の全14座を無酸素で初登頂

に、ヒマラヤ8000峰

した超人的クライマー、ラインホルト・メスナー氏から「取り組みの成功を祈る」とのメッセージと賛同署名が送られてきた。

「原水爆禁止国民平和

行進」では「平和と登山」の

旗とともに、労山旗を地方

に、ヒマラヤ8000峰

連盟の仲間がリレーし、広島・長崎まで行進してきた。核兵器禁止条約は「再び被爆者をつくるな」という被爆者の訴えと、人類を核兵器から守ろうという運動を継続してきた世界市民と国々による快挙。

日本は、核廃絶に向けて世界を主導する特別な責任がある。世論調査でも禁止条約への参加支持は7割を超えており、これに込めるのが被爆国政府の責務でもある。

核兵器を全面的に禁止し、核兵器のない世界を実現するための核兵器禁止条約が1月22日に発効、「核兵器は違法なもの」とする国際法となった。

禁止条約は、

核兵器の使用

は地球の自然

環境、世界の社

会経済的な発

展、人類の生

存、現在および

将来世代の健

康に重大な影響を与えることを指摘。被爆者および核実験の被害者にもたらされた容認しがたい損害に着目し、いかなる場合の核兵器

## 平和な世界、安心できる登山を実現するために

### 核兵器禁止条約に日本政府が署名・批准 することを求める決議

2021年2月21日

日本勤労者山岳連盟第34期第1回評議会

の使用も武力紛争に適用される国際法に違反するものであり、核兵器を全面的に禁止することになっている。禁止条約は、再び被爆者をつくるな、という長年の

日本は、核廃絶に向けて世界を主導する特別な責任がある。世論調査でも禁止条約への参加支持は7割を超えており、これに込めるのが被爆国政府の責務でもある。

平和な社会でこそスポーツ・文化の発展が保障されることから、「平和と登山」の旗を掲げ、「原水爆禁止国民平和行進」に参加している。

被爆者の訴えと人類を核兵器から守ろうという運動を継続してきた世界市民と国々による快挙である。唯一の戦争被爆国である

る。しかし、菅義偉首相は世界の流れに背を向け、米国の「核の傘」を理由に条約参加を拒んでいる。日本勤労者山岳連盟は、ここに決議する。

日本が核兵器を拒否する立場をとることになれば、他の核保有国の立場を大きく変えることになる。日本政府が唯一の戦争

被爆者および核実験の被害者にもたらされた容認しがたい損害に着目し、いかなる場合の核兵器

る。しかし、菅義偉首相は世界の流れに背を向け、米国の「核の傘」を理由に条約参加を拒んでいる。

被爆国として、被爆者および国民世論の声にこたえ、核兵器禁止条約に署名し批准することを求めることをここに決議する。

※(1項よりつづく)  
一步を踏み出すことを確認した。

「登山時報」は全国労山の機関誌として位置づけて発行しているが、購読者は会員の約1割にしか過ぎない状況で購読料収入だけでは発行費用を賄えなくなっている。このため、評議会で、

①発行費用を極力抑える、  
②「登山時報」の体裁を変えて全会員に無料配布を検討する、③「登山時報」の発行の諸問題を検討する会議を地方連盟の有識者を加えて6月に開催することが決定された。

その他、各種の担当者会議や全国集会の日程等を確認して評議会は終了した。



# 「全登研集会」は2022年に延期し

## 今年ZOOMによるプレ全国集会を開催

2月の評議会で2021年に「全国登山研究集会」を開催することが決定された。しかし、コロナウイルス禍は収まらず、感染力が強いといわれる変異型の陽性者が全国に広がって脅威を増している状況にある。

以上のことから、全国から一堂に集まる「全登研集会」は2022年に延

期することにした。今年、「全登研集会」開催に向けて、ZOOMを活用したプレ集会とし「課題別講演会」を開催することとした。この「課題別講演会」は、数回開催することにしており、地方連盟及び会クラブからの要望も取り入れて開催する予定である。

### 第1回 全登研集会に向けての課題別講演会

#### ● テーマ

#### 労山基金（団体）の

#### 魅力と活用方法

「労山基金ってなんだ？」  
「個人と団体」どこが違うの？と、疑問に思っている方も多いのでは？、みなさんの疑問にお答えする。

#### ● 講師

川嶋 高志 (日本勤労者山岳連盟事務局長)

● 日時 6月29日 (火)

19時～21時 (講演・質疑  
応答含む)

川嶋高志事務局長は、昨年の全国労山60周年記念式典

で講演し、好評だった。今回は、労山基金の改定により、団体加入の問題がうまく伝わっておらず、全国連盟事務局への問い合わせも多い。

このことから、第1回目に労山基金（団体）を会・クラブの運営にどのように活用すればいいのか、具体的な活用事例も含めて説明し、参加者からの質疑にも応える予定。

### 参加申し込み方法など

#### ■ 参加対象

労山会員、会員外でも労山基金について関心ある方などの登山者所属団体

#### ■ 参加方法

ZOOMによる講師の講演を視聴する。

#### ■ 参加申込

参加申し込み書（全国労山HPからダウンロード）に①氏名、②所属団体、③連絡先・携帯等④メール・アドレス（必須）を記入の上  
● ファックス (03-3235-4324)  
● メール (jwaf@jwaf)

# 全国労山が主催する各種会議及び集会案内

## 全国機関誌会議

■日時 6月20日(日)

午前10時～15時

■場所 全国労山事務所1階会議室

■参加形態 新型コロナ禍のため、ZOOMによる会議参加も実施

■参加費用(交通費) 全国連盟の負担

全国連盟の機関誌として発行されている「登山時報」の今後のあり方について、各地方連盟の機関誌担当者・機関紙発行者などを対象に会議に参加してもらって議論する。

## 会・クラブの基金担当者実務説明会

■6月26日(土) 北信越の会・クラブ対象(会場は長野県)

■7月10日(土) 東京都連盟の会・クラブを対象(会場は、全国連盟事務所1階)

会・クラブの労山基金担当者を対象にした会議で、主に実務について全国連盟労山基金運営委員会が説明し、質疑応答を行う。

## 全国ハイキング活動者会議

■日程 6月26日(土)

午後1時～5時

■場所 全国労山事務所1階会議室

■参加形態 事務所参加は20名を予定ZOOMによる参加も実施

■参加費無料、交通費は各自負担

ハイキングクラブの役員などを対象に開催する。会議では、ハイキング委員会からの報告と大型ハイキングクラブから「現状報告と今後の課題」についての報告を受け、あとは自由討論。

## 全国救助技術交流会

■日程 7月3日(土) 13時開会、4日(日) 12時閉会

■宿泊・会場 福岡県立社会教育総合センター

■参加費 4000円(一泊三食・風呂あり、3日夕(食、4日朝食、昼食は弁当))

■参加対象 救助隊員及び救助に携わる可能性のある会員。定員 50名

### 【交流集会内容】

・遭難事故発生時の連絡方法。携帯電話、スマホ、アマチャ無線機、SP

OT, GEN3、発煙筒

・遭難現場の特定方法。ココヘリ、ドローン、GPS、ビーコン

・危険な場所へのアクセス方法。要救助者への対応

・労山以外の山岳遭難救助組織について

・全国各地域の交流と懇親  
・ヒトココを使った検索訓練

## 全国自然保護講座 in 京都

■テーマ 北陸新幹線巨大隧道工事と山岳自然環境を考える

■講演 榊原義道(北山の自然と文化を考える会代表)

■現地視察 南丹波美山町田美

■日程 7月10日(土) 13時開会、11日(日) 13時閉会

■宿泊・会場 2泊2食ある京北(京都府ゼミナールハウス)

■参加費 7600円(一泊二食)

## 若手クライミング講習会

■日程 10月23日(土)～3日(日)

■場所 小川山金峰山荘

※参加申し込みなどの詳細については、全国労山HPか左記に連絡を。

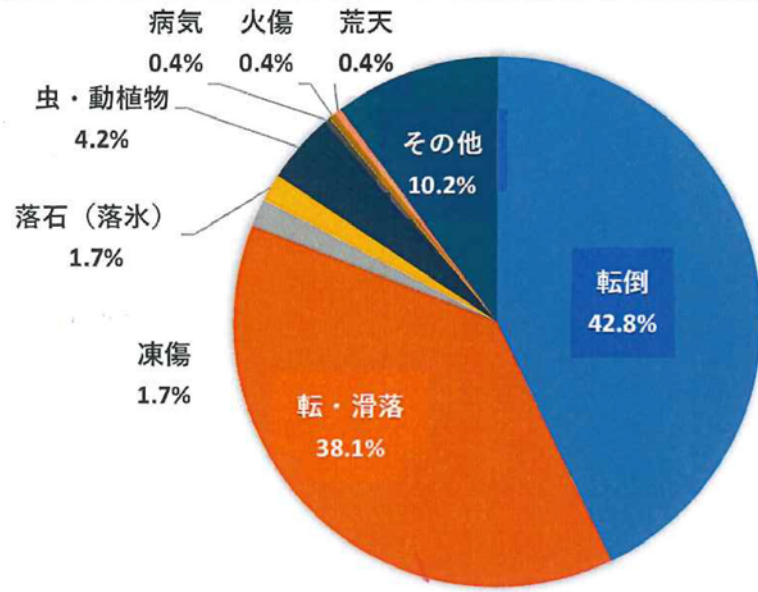
・電話 03-3260-6331

・メール jwaf@jwaf

# 「安全登山」に心がけ、夏山シーズンを楽しく

## 昨年 6〜8月に、労山内の遭難が急増 9月に緊急アピールを出す

コロナ禍の中で、思うような登山活動ができない状況にある。2020年の労山内の山岳遭難を見ると、死亡・行方不明者が5名で、この10年間で最少となった。しかし、緊急事態



2020年、労山内の原因別事故の状況

宣言下で4月は12名、5月は2名だったのが、解除後の6月に10名、7月は21名、

8月は37名と前年並みのレベルに急増した。このため9月16日付で緊急アピールを発する事態となった。防止のために、①山域を管轄する自治体の移動制限の情報、②公共交通機関の運行状況の確認、③行動中は、周囲の人となるべく距離をあける、④熱中症のリスクが高くなることから、行動中に息苦しさや暑さを感じる際は、マスクを外すことも必要、⑤山小屋やテント場の運営状況を調査・確認すること。

### 体力に合った山を選び 適格な登山計画を

山岳遭難は、登山計画を立てる場合の事前準備、目的の山にあったトレーニングを行って防ぎたい。自治体もあるので注意すること。グループの体力に合った適格な登山計画と

医療崩壊が叫ばれる中、遭難事故を起こさないで歩き夏山シーズンを楽しもう。

コロナ禍の中に、登山者など運動を継続している人にとって明るいニュースがある。それは、イギリスのスポーツ医学誌「**登山が、コロナ感染症の重症化を防止する重要な行動に**」で、新型コロナウイルスによる重症化を避けるためには、「継続的な運動」が重要だとする調査結果が発表されたことだ。

約5万人の感染者を対象に「運動不足の人」「何らかの運動をした人」「継続的な運動をした人」の死亡率は0・4%、入院率も3・2%で、他に比べ大幅に低かったという。調査は、体力測定などを厳密に行った調査結果ではないようだが、研究者らは、定期的に運動することが、新型コロナウイルス感染症の重症化や合併症を防ぐため、個人が実践できる最も重要な行動かもしれない、と示唆している。

# 「エンジョイ登山教室」などで会員増



新型コロナウイルスが  
発生したと言わ  
れ始めて約一年半が過ぎよ  
うとしている。現在、善通

1年間で15名の入会で会員増に

コロナ対策をちゃんとして山行を実施

善通寺山の会 村上 誠美

香川県連盟

寺山の会は基本的に、登山は通常の観光と違い、出発地から登山口までの車中での対策がちゃんとしていれば登山活動そのもので感染する可能性は低いだろうという観点で捉えている。したがって、車中においてはマスク、換気、消毒について、うるさい位言っており、山行活動においても同様である。会員同士で感染させない事に一番気を使っている。

善通寺山の会では、昨年一年で15名の入会があった。その要因として、第一に公開登山教室『エンジョイ登山教室』を設けたこと、第二に同時に会員拡大実行委員会を設け、年間を通して『エンジョイ』受講者を

多く公開山行に誘い、会の雰囲気や複数での山行の楽しさを実感してもらったこと、第三に2月初めの市民会館まつりでの写真展でそれらの山行の様も展示し広くアピールしてきたことなどが拡大につながったものと考えている。

『エンジョイ』受講者とその関連で8名SNSから3名、会員紹介ほか4名という会員拡大の結果を見れば、『エンジョイ』、『拡大』、『写真展』が単独で15名を達成できたわけではないことが分かる。つまり、それぞれのコラボレーションが上手



「エンジョイ登山教室の」受講生

くいき、会全体の拡大の機運が高まったことによるものと考えている。

しかしながら会員が増えれば増える程、数を維持する事の難しさも実感している。会員拡大は、短期集中で頑張るのが秘訣で、増えることがあれば減ることもあると達観するのも大事だと思っている。

# コロナ禍でも仲間が増える！

1年間で18名(21↓39名)の会員増に

コミュニケーションで**会員に山行写真や山行報告を行う**

スマイル・マウンテン・クラブ **早坂 直樹**

北海道・道央連盟

昨今、山岳会 キモイ、メンドー、SNSに勧誘すると「山 やYAMAPで知り合っ岳会ってウザイ、 た友達と気軽に行きたい」



と言われる。「そんなことは無い」と否定する人もいるが、それは「誘いやすい人」を勧誘しているだけだ。山岳会の仲間を増やすには「誘

## メリットを強みにして デメリットは改善する

山岳会に入るメリットは「生涯を通じての仲間ができる」「安全に登山ができる」「技術を教わる事ができる」「事故や遭難時に対処してもらえる」「労山基金」等。

デメリットは「会の恩恵を受けているので山岳会か

い難しい」の勧誘も必要だ。現状を知ろうとせず「所詮趣味だから」とやり難い事をしていないから会員数が減る。山岳会離れが進み、コロナ禍の中、スマイル・マウンテン・クラブ(以下SMC)は、1年間で21名↓39名になり18名のクラブ員の増加があった。入会者が多く退会者が少ない特徴がある。

## 新人クラブ員を増やすには

ホームページ更新や各所へのチラシは手段でしかない。作る事でいっぴいになり、楽しさが伝わらなければ、ただの自己満足。HP・チラシの担当者はクリエーターでなければならぬ。

## 当たり前のことを 当たり前に行う

結局は、普通に山岳会の活動を行えば、活気が出てきてクラブ員が笑顔になる。笑顔は人を集める。

## コロナ禍でも 対策をしながら活動する

仲間とのコミュニケーションを保つ為、オンライン参加と会場参加が選べるハイブリッド例会を開いて



700段近い階段を登ったところに植樹する参加者

「緑を育てる会」などの要請に応え、参加者のサポートのための活動をおこなった。

また、「リニア新幹線で自然を壊さないでください」の署名活動もおこない、3日間約18

足尾銅山の開発により排煙、鉍毒ガス、鉍毒水などの有害物質が周辺環境に著しい影響をもたらし、鉍石精錬所周辺は草木が生えない山と化してしまった。

NPO法人 足尾に緑を育てる会は、「足尾に緑を

渡良瀬に清流を！」と、「足尾の山に100万本の木を植えよう！」を合言葉に、第25回目の「春の植樹デー」を蜜を避けて4〜5月に5回に分けて実施された。

全国連盟・リニア対策委員会・自然保護委員会は、

# リニア凍結署名180筆集まる

## 足尾の山 第25回春の植樹デーに参加

全国連盟  
リニア対策委員会  
自然保護委員会

0筆が集まった。

足尾銅山は、19世紀後半の明治時代初期から栃木県と群馬県の渡良瀬川周辺で起きた、日本で初めてとなる足尾鉍毒事件・公害事件として有名。

●1枚 1200円+送料100円 ●5枚以上注文すれば送料は無料  
※生地は、ドライTシャツ（ポリエステル100%）吸汗・速乾です

山筋ゴーゴー体操講習会などで、山筋ゴーゴー体操の「Tシャツほしいね〜」という声もよせられていました。全国連盟・山筋ゴーゴー体操推進委員会は、要望に応えるため検討してきました。デザインをどうするか議

論した結果、労山会員がボランティアでやっていただくことになり、Tシャツを作成して販売することになりました。Tシャツは一般用とサポーター用の2種類あります。



右側のTシャツが一般用です。左側がサポーター用です。



- 別紙の申込用紙で申し込んでください
- 申込用紙は、全国労山 HP からダウンロードできます。
- 問い合わせは、03-3260-6331 (am10:00 ~ pm6:00)
- 申込先 mail=jwaf@jwaf.jp fax 03-3235-4324  
日本勤労者山岳連盟・山筋ゴーゴー体操推進委員会



A4判120ページ  
手渡しの場合は400円

申込は全国連盟事務局へ

全国労山の60年の歩み

一冊500円 (送料)